

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

【報告】

生涯学習センターでは、「さっぽろ市民カレッジ」を中心に、現地学習や実習を交えるなどしてプログラムの充実を図るとともに、市内コミュニティ施設や大学・専門機関、民間企業等と連携し、多様な学習機会の提供に努めた。こうした取り組みにより、さっぽろ市民カレッジの受講者数は過去最高水準の 5,223 名となった。

また、市民講師（ご近所先生）やボランティア団体の生涯学習センター事業への参画を積極的に図り、学習成果を生かしたい市民の社会参加を支援した。

メディアプラザでは、札幌市図書館とのシステム統合や視聴覚教材を活用した映画会や CD コンサート等の積極的な実施、Chie Terrace（愛称：ちえテラス）とタリーズコーヒー札幌ちえりあ店のオープン等の相乗効果から来場者数は過去最高の 224,371 名となった。

さらに、貸室申し込みにおいて、インターネットで仮予約ができるように改善し、利用者の利便性向上を図った。

青少年科学館では、常設展示・実演及びプラネタリウム等の運営を行い、市民に対して科学への興味関心を喚起した。

小中学生の夏休み期間中に実施した夏の特別展ではヒトの「消化」、冬の特別展では「光」、春の特別展では「文具」をテーマに実施した。上記特別展は、展示物の制作から運営方法まで当館職員が企画・実施し、オリジナリティあふれる特別展となった。

また、専門家を招いてのロケット打ち上げのパブリックビューイングの実施や、2017 年にノーベル物理学賞の対象となった「重力波」をテーマにした講演会の開催など、話題性のある内容を取り上げ、子どもたちのみならず大人の方の知的好奇心を満たすような事業展開を図った。さらに他施設・他団体と積極的に連携を図り、館内及び館外において事業を実施し、当館と連携先とのつながりを強化した。

札幌市天文台では、職員による専門的な解説やホスピタリティあふれる対応によりリピーターの確保を図り、利用者は 18,000 名に迫った。

公 1 生涯学習普及振興事業

(定款第 4 条各号に掲げる事業)

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目 的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 学習機会提供・活動支援事業

(1) さっぽろ市民カレッジ

年間を 3 期（4～8 月、9～12 月、1～3 月）に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系をあわせて 298 講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生（市民講師）の企画・運営による講座や大学・企業とも連携した講座を実施するなど、市民に多様な学習機会を提供した。

さらに、高校生と大人と一緒に学ぶ〈学社融合講座〉では、受講生同士の世代を超えた交流を図った。

ア 市民活動系

市民活動系の講座では、地域での実践を想定して現地学習を取り入れ、必要な知識や手法、様々な事例紹介を行う講座を企画した。「町内会の法律知識」では、町内会活動を行なう上で知っておくべき法律知識を事例を通して解説し、講師や受講者同志の意見交換が活発な講座となった。新規で実施した「読み聞かせボランティアをはじめよう！」や毎年実施している「歌ってボランティア」「カメラボランティア」などの趣味を生かして活動につなげる講座では、修了後もボランティア活動を継続する受講者が多く、楽しみながら社会との関わりづくりに興味をもつきっかけとなる講座となった。



イ 産業・ビジネス系

職業能力を向上させるための知識や手法を中心に講座を実施した。「新聞とネットから読む今」は、就業前の朝の時間帯に大通にあるカフェで実施し、多数の受講者が集まり好評を得た。その他「マスコミに取材される方法」「広報担当者のための基礎知識」「フリーランスのための税務入門」など対象者を明確に絞ったビジネススキルアップ講座や「ビジネスでドローンを飛ばそう」など時代の変化に対応した新たなビジネスを考える内容の講座など、幅広い内容をテーマに実施した。



ウ 文化・教養系

趣味・教養講座などでは、内容の充実につとめ市民の学習意欲の向上を図るとともに、継続的な学びの場を提供し、幅広い年齢層に向けた講座を実施した。

「今話題の人工知能を知ろう」やアートを科学の視点から見る「大人のための絵画鑑賞」北海道の料理の歴史を学び調理を行う「開拓料理から学ぶ北海道」など新規講座を実施した。

ちえりあ学習ボランティア企画講座では、「札幌再発見」「開拓の礎となった大友掘と札幌黄」など、現地学習を取り入れたカリキュラムで、より受講者の理解を深めることができた。

ご近所先生企画講座では、「スペイン語」「旅の英会話」「イタリア語超入門」など語学系講座で受講者が多く集まる傾向がみられた。

【実績】さっぽろ市民カレッジ講座内訳

(括弧内は前年度実績)

	生涯学習 センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数計	受講者数計
市民活動系	27 (22)	8 (9)	— (—)	— (—)	35 (31)	564 (487)
産業・ ビジネス系	21 (27)	12 (8)	— (—)	— (—)	33 (35)	494 (451)
文化・ 教養系	48 (48)	14 (12)	16 (15)	152 (156) ※地域会場：35 (23)	230 (231)	4,165 (3,950)
合計	96 (97)	34 (29)	16 (15)	152 (156)	298 (297)	5,223 (4,888)

(※地域会場：区民センター・地区センター等)

(2) 生涯学習関連講座

市民の多様なニーズに対応するため、大学・企業などと連携し、その機能や専門性を生かした講座を実施した。また、市民の生涯学習活動を支援するため、行政と連携し、生涯学習センターの持つノウハウを生かした講座を実施した。



ア 大学などとの連携事業

大学と連携し互いの特性を生かした講座を実施し、学びを通じた世代交流、異年齢学習の推進を図った。

【実績】札幌市立大学 3講座、北海学園大学 1講座、北海道教育大学 4講座

「世界にひとつだけの絵本をつくろう」(北海道教育大学) 14名 ほか

イ 行政機関連携講座

生涯学習センターが有する企画・運営のノウハウを生かし、高齢者対象の「東区

年輪大学企画運營業務」「西区ときわ大学企画運營業務」をそれぞれ受託し、実施した。

【実績】「東区年輪大学」15回50名（前年度 16回35名）

「西区ときわ大学」16回39名（前年度 15回50名）

ウ 民間企業などとの連携事業

それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。特にアサヒビール(株)との『森の学校』では、DCMホームマック(株)、環境NPOとの4者連携となり、それぞれの専門性を生かし充実した内容となった。



【実績】7講座103名（前年度 7講座112名）

「森の学校」（アサヒビール(株)）16名

「おいしいめんつゆの虎の巻！ダシの秘密」（東洋水産(株)）22名

「牛のお話とバターづくり」（雪印メグミルク(株)）21名 ほか

エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

専門機関や各種学会・協議会などと連携し、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施した。



（公社）土木学会との連携講座では工事現場を訪問する講座を企画したところ、多くの申し込みがあった。北海道開発局札幌開発建設部、札幌市水道局、（一社）日本建設業連合会北海道支部など幅広いネットワークを生かした講座を実施した。

（一社）エゾシカ協会との連携講座では、ハンターや「地域おこし協力隊」などの実践者が参加する専門的な講座となった。

【実績】5講座139名（前年度 8講座143名）

「おいしいエゾシカ学」（（一社）エゾシカ協会）21名 ほか

(3) 生涯学習普及事業

ア ちえりあフェスティバル

ちえりあの開館（平成12年8月）を記念して行っている「ちえりあフェスティバル」では、館内の4施設（生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザ宮の沢）が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行い、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。



サークル活動、講座の体験や、科学館と連携して行ったプラネタリウム、高齢者

向けイベントなど様々な年代を対象としたイベントを実施した。また、タイトルロゴデザインを公募するなど、市民参加型の要素も取り入れながら事業を展開した。

【実績】 8/26(土)～8/27(日)2日間延べ17,989名 (前年度 2日間12,857名)

- ・ 講座体験ブース
- ・ プラネタリウム(青少年科学館と共催)ほか

イ ちえりあ映画会

映画に親しむ機会を提供するため、生涯学習センター等が所蔵する多様な映像教材をちえりあホールで上映した。邦画では、ボランティア団体の「ムービー北海道」の協力を得て、目の不自由な人も鑑賞できるよう副音声ガイドサービスを実施した。

また学校の長期休業期間には、親子で楽しめる作品を上映した。

このほか、Chie Terrace (ちえテラス) に接続するホールホワイエ等を活用して、親子向けの「キッズシネマ」及び一般向けの「夕暮れシネマ」上映会を実施した。

【実績】 30回4,163名 (前年度 21回3,588名)

- 大人向け19回「蝉しぐれ」ほか
- 子ども向け11回「トムとジェリー/ウッドペッカー」ほか

ウ オペラシアター

世界一流のオペラを鑑賞しながら、それにまつわる幅広い知識や教養を身につけるため、生涯学習センター所蔵のDVDの上映と専門家の解説を組合せた講座を実施した。

【実績】 6回801名 (前年度 6回886名)

- 「蝶々夫人」ほか

エ ちえりあ映像フェスタ

北海道や札幌をテーマに市民から公募した映像作品の上映会にあわせて、コーディネーター(北海道教育大学教授/伊藤隆介氏)による講評を行い、地域の魅力について考えるきっかけとした。



【実績】 応募13作品、来場者114名 (前年度 応募15作品、来場者118名)

オ ちえりあ講演会

生涯学習活動の普及啓発を図るとともに、さっぽろ市民カレッジをはじめとする事業の紹介を行うため、市民が興味・関心を持つと思われるテーマの講演会を、ちえりあフェスティバルと同時期に開催した。

【実績】 1講演202名 (前年度 1講演113名)

8/27(日)「元気シニアの集い・私と父のアルツハイマー闘病記

～自分自身が発見者～

講師：ノンフィクション作家 佐藤 早苗氏

カ ゆりかごコンサート

子育て中の親とその子どもに気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、乳幼児の声や動きをあまり気にせずに鑑賞できるコンサートを開催した。

【実績】2公演417組834名（前年度 2公演425組850名）

12/5(火)出演：アルコ弦楽四重奏団 240組480名

2/16(金)出演：和楽座 177組354名



キ CDコンサート

生涯学習センター所蔵の音響機器と視聴覚資料を活用し、良質な音響環境で名演奏に親しむ場を提供するとともに、メディアプラザの貸出CDの利用促進を図った。また、Chie Terrace（ちえテラス）に接続するホールホワイエ等を活用して、ミニCDコンサートを開催し、音楽鑑賞の機会を増やした。

【実績】30回436名（前年度 22回463名）

「ムーンライト・セレナーデ/グレン・ミラーのすべて」

「ニューイヤーコンサート1987」ほか

ク 北海道吹奏楽フェスティバル

（共催：北海道吹奏楽プロジェクト）

若手プロ奏者たちによる演奏会にあわせて、小・中学校・高校・大学の吹奏楽部に公開レッスンを行うレクチャーコンサートを開催して、吹奏楽活動を支援し、その普及を図った。

【実績】3公演1,017名（前年度 2公演977名）

出演団体15団体（前年度 13団体）



ケ カルチャーナイト（主催：カルチャーナイト実行委員会）

夜間、公共施設などを開放し、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に参加し、「折り紙体験会」を1階ロビーで、「ナイトオペラシアター」を1階ちえりあホールで実施した。

【実績】1回149名（前年度 1回150名）

7/21(金)「ちえりあナイトオペラシアター愛の妙薬」89名

「折り紙体験会」60名



(4) 文化振興事業

日本の古くからの風俗・習慣・人情を学び、日本の伝統芸能への理解を深めるきっかけづくりを行う一連の落語事業を実施した。

ア 落語学校鑑賞会

中央区、西区、手稲区の小学校 9 校の児童を無料招待し、学校鑑賞会を実施した。内容は、落語、色物の鑑賞のほか、鳴り物の解説を行った。

【実績】 9/28(木)～9/29(金)3公演1,049名 (9校)

(前年度 4公演1,320名(10校))

招待校：二十四軒小、稲積小、前田中央小、新陵小、円山小
福井野小、発寒小、琴似小、新陵東小



イ ちえりあ寄席

真打はもとより、道内で唯一、前座、二つ目、色物も出演する本格的な寄席を鑑賞する機会を提供した。

また、はじめての落語と題して、初心者向けに鳴り物解説や、落語の楽しみ方などを学ぶ公演を行なった。

昨年度に引き続き、チケット販売を「チケットぴあ」でも実施したことで、ネットやコンビニでの購入が可能となり、市民の利便性を高めることができ、販売枚数の増加につながった。

【実績】 9/29(金)～9/30(土)4公演928名 (前年度 6公演1,930名)

主な出演者：桂米助、瀧川鯉昇、桂文治、立川談幸、山上兄弟ほか



ウ ちえりあ学生寄席

「ちえりあ寄席」の舞台を活用し、伝統芸能としての落語などを学ぶ学生（北海道大学落語研究会）に取り組みの成果を発表する機会を提供した。昨年度に比べ来場者数はおおよそ2倍であった。

【実績】 9/27(水)「ちえりあ学生寄席」255名 (前年度 129名)



(5) 学習活動支援事業

ア サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体に学習成果を披露する場を提供することにより、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることに役立てた。

【実績】 観覧者 1,648 名

作品展示 11/18(土)～24(金)参加者19団体

舞台発表 11/21(火)～23(木)参加者61団体

(前年度 観覧者2,059名)

展示：参加者16団体 舞台：参加者57団体)



イ ロビーコンサート

市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に演奏を聴いてもらう機会を提供した。

【実績】12回参加者12団体、来場者1,274名

(前年度 12回参加12団体、来場者1,428名)



ウ 幼稚園児のお絵かき展

(一社)札幌市私立幼稚園連合会の協力のもと、幼稚園児の活動発表の場としてロビーで作品展を開催した。期間中は園児やその家族が来館し、楽しそうに展示作品を眺めるなど館内に明るい賑わいが創出された。さらに、展示数が少ない月は、装飾品と一緒に展示することで作品展が一層賑やかになった。

【実績】参加12園1,676作品 (前年度 12園1,813作品)



エ アートウォール作品展示

ロビーの壁面を活用し、市民から募集したアート作品の展示を行うことで、芸術活動に取り組む市民に発表の場を提供するとともに、来館者にアート作品鑑賞の機会を提供した。

【実績】9作品 (前年度 11作品)

オ ロビー展示

ロビーやギャラリーでさっぽろ市民カレッジ受講生の作品展などを行い、学習成果発表の機会提供と学習意欲向上を図った。定期的にロビーで展示することで館内全体の賑やかさに繋がった。

また、センター利用者に、生涯学習センターがどのような事業をしているのかを紹介することができた。カメラボランティア作品展や落語PR展、広報誌展やチャレンジ宣言展など、1Fロビーにて各種PR展を行った。

【実績】12件 (前年度 18件)

2 学習支援者活用・育成事業

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

ア 市民講師育成事業（ご近所先生）

ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、講師としての資質向上とスキルアップを目的とした研修会と交流会を実施した。



交流会では2名の講師による模擬講座が好評であり、その後のフリータイムにおいても受講生との関わり方や講座の進め方などの話題で、講師同士の活発な交流を図ることができた。また、10周年を記念しロビー展を開催した。

【実績】研修会4回129名 交流会1回37名

(前年度 研修会4回169名 交流会1回37名)

イ 生涯学習ボランティア育成事業

(a) ちえりあ学習ボランティア

さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」に、活動の場と知識やノウハウを実践的に学ぶ機会を提供した。



【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者数47名 (前年度 50名)

(b) メディアボランティア・オンデマンド

視聴覚教育に精通する教員OBで構成されるメディアボランティア「オンデマンド」に、16ミリフィルム及び映写機の使用方法を一般市民に伝える講習会の場を提供するなどして、活動を支援した。

【実績】「オンデマンド」登録者数4名 (前年度 7名)

7/30(日)16ミリフィルム上映体験講習会 親子5組10名

(前年度 6/25(日)16ミリフィルム上映体験講習会3名)

11/26(日)16ミリフィルム上映体験講習会3名

(前年度 12/4(月)16ミリフィルム上映体験講習会3名)

ウ 職場体験などの受入れ

職場体験の実習生を受け入れ、さっぽろ市民カレッジの企画、立案、運営などを体験する場を提供した。

【実績】職業体験7校33名 (前年度 8校27名)

手稲東中学校5名、北海道教育大学附属中学校5名、稲積中学校5名、

札幌英藍高等学校5名、北海学園大学10名、北海道大学2名、北翔大学1名

エ 生涯学習関連施設職員研修事業

区民センター、地区センターなど生涯学習活動支援を担う施設職員の資質向上を図るため、事業の立案や広報などに必要なノウハウを身につける研修を実施した。

【実績】2回20施設35名 (前年度 2回20施設42名)

2/8(水)22名、2/17(金)20名

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用推進事業

さっぽろ市民カレッジ受講修了者に対して、学んだ成果を生かしてもらうため、生涯学習センター事業や地域での活動の場を提供し、支援を行った。

(a) ちえりあビデオクルー

映像メディア講座受講修了者で結成されたグループに、生涯学習センター事業、地域の活動・行事、自然風景などのビデオ撮影・編集を依頼し、生涯学習センターのホームページで作品を発信した。

【実績】登録者数20名（前年度 22名）

(b) 市民ファシリテーター

市民ファシリテーター養成講座の受講修了者を対象に、実践的な活動に必要な知識やノウハウを学ぶ機会を提供し、同講座の補助講師を務めてもらった。

【実績】登録者数3名（前年度 3名）

(c) コーラスボランティア

「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたグループに同講座の運営補助を務めてもらい、講座内で施設慰問コンサートを実施した。

【実績】登録者数「コスモス」13名、「プリティボイス」19名
（前年度 「コスモス」10名、「プリティボイス」14名）

(d) カメラボランティア

さっぽろ市民カレッジのカメラボランティア講座修了者によるサークルに生涯学習センター事業の写真を撮影してもらい、広報誌や事業概要などに活用した。

また、カメラボランティアの活動を広く市民に知ってもらうきっかけとして、ロビーで活動展を行った。

【実績】登録者数「ハピネス」8名、「you快」6名、「トレトレ」9名
（前年度 「ハピネス」8名、「you快」5名）

3 生涯学習センター管理運営事業

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を提供した（有料）。申し込み時の利用者の利便性を高めるため、インターネットで仮予約ができるようWeb仮予約システムを導入した。

【実績】貸室利用件数14,820件 利用率82.4%
（前年度 貸室利用件数14,869件 利用率82.9%）

イ ギャラリーの活用

ギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

【実績】ギャラリー利用件数12件（前年度 13件）

ウ 学習のための施設開放

空き室を学習の場として開放するなど有効活用に努めるとともに、施設開放の実

施状況をホームページ上で掲載し、利用者の利便性向上を図った。

また、学生の長期休業期間以外でも、利用状況に応じた空き室の開放を行うなど、弾力的な運営を行い、利用者のニーズに応えた。

【実績】夏季期間中（7/20(木)～8/18(金)）10日間68名（前年度 11日間250名）

冬季期間中（12/20(水)～3/15(木)）37日間325名（前年度 37日間839名）

エ 公共目的事業の共催

若手音楽家の育成に取り組むNPO法人の演奏会や、西区の障がい者支援施設を中心とした団体の利用など、当財団の公益目的事業の趣旨に沿うものについて共催し、広報や会場使用料の減免などの協力や支援を行った。

【実績】共催事業2件（前年度 2件）

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

メディアプラザでの学習相談を始め、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、「ちえりあ市民講師バンク」に登録している講師や、サークル活動の内容を紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

あわせて、「ちえりあサークル」に登録している団体の情報をまとめた「サークルガイド」を配布した。

【実績】メディアプラザ学習相談12,389件（前年度 13,803件）

ちえりあ市民講師バンク登録者数191名（前年度 177名）

サークル登録168件（前年度 152件）

イ 広報誌の発行

生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、公共施設などに配布した。

【実績】8回発行（5月、7月、8月、9月、11月、12月、1月、3月）各12,000部

（前年度 6回発行(5月、7月、9月、11月、1月、3月)各12,000部)

ウ ホームページの活用

講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえりあビデオクルーが撮影した動画を配信するなどして、生涯学習センターの事業を紹介した。

【実績】ホームページアクセス数1,039,230件（前年度 1,097,394件）

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

生涯学習関連施設の情報や講座等の情報を掲載した「大人の学び場MAP」を、8月及び2月の2回、各回6,000部ずつ発行した。

今年からA6版のポケットブックサイズとし、斬新なデザインの表紙とするなど、手に取りやすさを重視した。

また、地下歩行空間で配布会も行い、普段生涯学習関連施設を訪れない市民にも

冊子を手にとってもらう機会を設けた。

【実績】2回発行（8月、2月）各6,000部
（前年度 2回発行 各3,000部）

オ 「子どもの学びガイド」の発行

学校休業日に市内公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介する案内チラシを、6、7、11、12月の年4回、いずれも計画通り発行し、市立小学校の全児童に配布した。

【実績】4回発行（6月、7月、11月、12月）各93,000部
（前年度 4回発行 各93,000部）

カ 調査研究事業

平成28年度の調査研究事業で提案した「札幌市内の生涯学習関連施設等で行われる講座等の情報を紹介する市民向けのウェブサイト」（札幌サイト）について、それが効果的に活用されるためにどのようなコンテンツが必要であるかを調査した。

キ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 生涯学習センター運営協議会

今後の管理運営の改善に生かすため、利用者の代表や学識経験者などによる協議会を開催し、生涯学習センターの事業を検証した。

【実績】8/2(水)、12/15(金)、2/27(火)

(b) 利用者アンケートの実施

利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを2月～3月に実施した。その結果、総合満足度は要求水準の満足度80%を上回ることができた。

【実績】回収数560枚（前年度 519枚）
総合満足度81.7%（前年度88.8%）

(3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出、資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

広く学習相談に応じるとともに、生涯学習に関する資料の収集と貸出や資料紹介などのレファレンスサービスを通じて、学習活動の支援を行った。

【実績】来場者数224,371名（前年度 208,855名）

(a) 図書閲覧・貸出

平成28年10月より札幌市図書館と電算システムを統合し、図書やCDの相互貸出サービスを行えるようになった。平成29年度は、一年を通してそのサービスを提供した最初の年だったが、入場者数及び貸出冊数の伸びは顕著であった。



また、新たに札幌市えほん図書館と協力し、「さっぽろ絵本グランプリ」の展示事業を実施した。

【実績】 図書・CD貸出数76,565点

(前年度 59,419点 ※9/1～10/26休室)

(b) 音楽・語学教材・映像の視聴

クラシックを中心とした音楽教材などを収蔵する図書館として、音楽・映像・語学教材（保有数 28,931 点）を館内での視聴に供した。

また、CD（保有数約 1 万 2 千点）の館外貸出を実施した。過去に実施した特集やコンサートの資料を展示するコーナーを設けるなどし、貸出数の増加につなげた。

【実績】 <館内貸出> 音楽教材1,399件（前年度 1,160件）

映像教材3,906件（前年度 4,184件）

語学4件（前年度 3件）

<館外貸出> 図書・CD貸出数76,565点（再掲）

(前年度 58,419点)

(c) Chie Terrace事業

旧レストランスペースの客席を「ブックカフェスタイル」に改修し、「Chie Terrace（ちえテラス）」としてオープンして1年が経過した。ちえテラスでは、図書などの特集展示、絵本の読み聞かせ、映画会、CDコンサートなどのイベントを実施した。

【実績】 おはなし会（絵本の読み聞かせ）12回参加者411名

映画会18回参加者185名

CDコンサート18回参加者78名

イ 視聴覚センター管理運営事業

(a) 視聴覚教材の貸出

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行った。

市内の学校、町内会やサークルなどに、16ミリフィルム（保有数 3,065 本）・ビデオ（保有数 6,500 本）・DVD（保有数 1,327 本）などの貸し出しを行った。また、自主制作教材をホームページ上でも見ることができるデジタルアーカイブスとして提供した。

【実績】 教材貸出数1,711本（前年度 1,997本）

機材貸出数171台（前年度 215台）

デジタルアーカイブスアクセス数111,448件（前年度 167,102件）

(b) 学習教材の制作

学校教育、社会教育関係者に依頼して地域を主題とした教材を制作するとともに、教材制作を行う教職員などへの助言・技術指導を行った。

【実績】3本（前年度 4本）

(c) 視聴覚操作技術等講習会

① ビデオ制作ワークショップ

自主制作教材の制作技術の向上を図るため、教職員を対象に夏休み・冬休み期間中にワークショップを実施した。

【実績】4回44名（前年度 4回50名）

7/27(木)受講者数9名

7/28(金)受講者数15名

1/4(木)受講者数10名

1/5(金)受講者数10名

② 中学校校内放送コンテスト

札幌市中学校放送教育研究会との共催で、中学校放送局員が制作した番組とアナウンスのコンテストを開催した。

【実績】7/16(日)参加校11校36名（前年度 1回12校41名）

③ 中学校校内放送技術講習会

札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を実施した。

【実績】2回16校57名（前年度 2回18校55名）

8/16(水)参加校12校

1/27(土)参加校4校

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

4 科学及び科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(a) 日曜実験室

小中学生を対象に、身近な題材や現象を取り入れた実験教室を日曜・祝日に実施した。

【実績】64回689名（前年度 66回753名）

4月～6月「シジミのヒミツ?!～生きている様子を観察しよう～」

16回196名

7月～10月「電気・電池・発電機～電気の性質を調べ、

電気のつくり方を理解しよう～」22回166名

11月～2月 大地を科学する実験「あなたのイシはかたい!?

～キレイな宝石も探してみよう～」21回272名

3月 洗剤の科学「汚れを撃退!洗剤の潜在パワーを探る」 5回55名

(b) サイエンジャー科学教室

主に土曜日と夏・冬休み期間中に小中学生を対象に、テーマや実演方法を工夫した工作・実験教室などを実施した。



【実績】19回310名（前年度 17回307名）

6/25(日)「電気に関する実験」2回29名

7/26(水)～7/27(木)「探偵!サイエンススコープ」4回96名

(協力:北海道小学校理科研究会)

9/2(土)「ROBOLABプログラミング教室」1回37名(主催:日本IBM株)

9/16(土)「水にとけるものとけないもの」2回27名

9/30(土)「手づくり乾電池教室」2回16名(協力:(一社)電池工業会)

11/25(土)「空気鉄砲はなぜ飛ぶ?」1回12名

1/15(月)・1/19(金)「イツツ・ショータイム!音の正体!」4回40名

(協力:北海道小学校理科研究会)

2/10(土)「ROBOLABプログラミング教室」1回36名(主催:日本IBM株)

3/4(日)「回転の見方考え方～コマは回転の全てを語る!?!～」2回17名

(c) 親子科学教室

親子で参加する実験・工作教室を実施し、来館やイベント参加へのきっかけづくりとした。

【実績】8回94組217名（前年度 4回45組87名）

7/2(日)「見えない光 紫外線」2回28組66名

11/23(木・祝)「作って学ぼう！コマの不思議」2回24組56名

12/9(土)「羊毛フェルトでコースターをつくろう」2回20組45名

1/27(土)「トライサイエンス～ヨットカーを走らせよう！～」

(日本IBM(株)連携講座) 2回22組50名

(d) 科学館の工作室

<小中学生向け>

工作を通して科学原理の理解を深める機会を提供するため、主に小中学生を対象に、簡単な工作教室を実施した。

【実績】171回1,467名（前年度 168回1,481名）

<土曜工作会>

小学3年生～中学3年生を対象に、より高度な内容で工作物の原理等についての解説を行う工作教室を実施した。

【実績】3回40名（前年度 3回82名）

7/8(土)「電子工作でつくる！！ストロボスコープ」2回30名

3/10(土)「虫が飛び回る飛行塔」1回10名

<夏休み工作会>

小中学生の夏休み期間に合わせ、自由研究等に活かせるような工作会を実施した。

【実績】12日間48回736名（前年度 14日間56回880名）

7/29(土)～7/30(日)、8/4(金)～8/6(日)、8/9(水)～8/13(日)、

8/19(土)～8/20(日)

「星座早見帽」、「異次元ランナーハムさん」

<冬休み工作会>

小中学生の冬休み期間に合わせ、自由研究等に活かせるような工作会を実施した。

【実績】8日間32回596名

(前年度 9日間36回708名)

1/5(金)～1/8(月・祝)、1/11(木)～1/14(日)

「わんこのレース」、「ミラーレス万華鏡」



(e) 大人のための天文教室

初心者や中級者向けなど参加者の理解度にあわせて難易度を設定し、天体観測機器を活用した天文教室を行った。中級者向けの「詳しく学ぶ天文講座」では、うち1回を「天体写真の撮り方」とテーマを絞って実施した。

① やさしく学ぶ星空教室

初心者向けに、季節の星座や星座早見盤の使い方などを学ぶ基礎的な天文教室を実施した。

【実績】2回54名（各回全3日・前年度 2回39名）

② 詳しく学ぶ天文講座

中級以上を対象に、少し専門的な内容を盛り込んだ天文講座を実施した。

【実績】1回32名（全4日・前年度 2回61名）

③ はじめての天体写真講座

一眼レフカメラを使って天体写真を撮るために必要な技術を学ぶ講座を実施した。

【実績】1回（全4日）15名

(f) 親子天文教室

親子で楽しみながら基礎的な天文知識を身につけ、天体への興味・関心を深めてもらうため、小学生とその保護者を対象に、天体望遠鏡を作る工作教室を実施した。



【実績】7/28(金)～7/30(日)

「手づくりの望遠鏡で星空を見よう！」3回47組123名

1/13(土)～1/14(日)「惑星モビールを作ろう」2回59組141名

(前年度 5回131組302名)

(g) 宇宙セミナー

第一線で活躍する専門家を招き、最新の天文情報に基づく講座を実施した。

【実績】1/21(日)「重力波で探る宇宙の歴史」

講師：羽部朝男氏（北海道大学教授）64名

(前年度 3回319名)



(h) 先端科学技術講座

最先端の科学技術への興味・関心を高めるため、常設展示では補えない最新の科学研究について紹介する講演会を実施した。

【実績】7/26(水)「山崎直子宇宙飛行士特別講演会～宇宙がより身近に！

宇宙開発は新時代へ～」講師：山崎直子氏 175名

2/18(日)「捨てられている熱を電気に変えよう！」

講師：太田裕道氏（北海道大学教授） 48名

(i) 中高生による科学教室

中高生の科学部等の活動を支援するため、研究成果発表の機会と互いに交流する場を提供し、一般参加者も参加・体験できる科学教室を実施した。

【実績】10/29(日)参加校5校59名（前年度 6校47名）

(j) 大学生による科学教室

大学生の研究実践の場を提供するとともに、子どもたちの科学への興味関心を高めるため、大学生が小中学生及び高校生を指導する科学教室を実施した。

【実績】2回37名（前年度 3回48名）

2/17(土)

「大学生が教えるロボット相撲講座！」（北海道科学大学）21名

「発電とコンデンサのはたらき」（千歳科学技術大学）16名

イ 出前イベント

(a) 移動科学館

普段の授業では困難な実験を学校へ出向き実施し、理科の授業を支援した。



【実績】6校317名（前年度 9校538名）

9/15(金)「電気と磁石は親戚!？」真栄小学校5年生 84名

9/22(金)「電気と磁石は親戚!？」伏古小学校5年生 63名

9/29(金)「電気と磁石は親戚!？」北都小学校5年生 71名

10/6(金)「電気と磁石は親戚!？」あやめ野小学校5年生 23名

10/13(金)「電気と磁石は親戚!？」前田小学校5年生 35名

10/20(金)「電気と磁石は親戚!？」東苗穂小学校5年生 41名

(b) 出前サイエンス

<幼児のための出前サイエンス>

幼稚園へ出向き、就学前の子どもが楽しみながら科学に慣れ親しむことができるよう、遊びの要素を多く取り入れた実験・実演・工作教室などを実施した。

【実績】4園578名（前年度 6園703名）

10/5(木)「サイエンスマジシャンのふしぎなマジック」

認定こども園せいめいのもり 87名

10/12(木)「いろいろかわるふしぎなかがく」

東橋いちい認定こども園 110名

10/19(木)「いろいろかわるふしぎなかがく」

札幌くりのみ幼稚園 244名

10/26(木)「サイエンスマジシャンのふしぎなマジック」

ばんけい幼稚園 137名

(c) 移動天文台

学校や町内会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣し、望遠鏡等での天体観測や星空解説などを行う観望会を実施した。

【実績】33回2,787名（前年度 46回3,438名）

6/16(金)～10/27(金)拓北養護学校、藤野小学校など

(d) 移動プラネタリウム

地理的・時間的に来館困難な小学校などへ出向き、移動式のプラネタリウムを利用した学習投影を行った。

また、移動プラネタリウムを幼稚園やその他のアウトリーチ活動に活用した。

【実績】幼稚園5園409名（前年度 8園490名）

小学校9校336名（前年度 11校775名）

中学校5校772名（前年度 2校320名）

ウ その他科学普及に関する事業

(a) 科学クラブ運営

リピーターの拡大をはかるため、小中学生を対象に会員を募り実験教室などを行った。また、会員向けのメールマガジンの発行や各種イベントへの参加回数に応じ特典を付与し、所定のポイント取得限定の特典イベントを実施した。



【実績】会員84名（新規40名、更新44名）

（前年度 会員76名(新規39名、更新37名)）

5/13(土)入会式 50名

5/20(土)「偏光板ってなんだろう？つくってみよう偏光板工作」44名

6/10(土)「あじさい祭り～まさつ力でいろいろ大実験！～」39名

7/17(月・祝)「夏の特別展バックヤードツアー」38名

9/9(土)「生き物探検隊！in円山動物園」19名

11/4(土)特別講演会「病原体に立ち向かう小さな戦士たち

～DNAが免疫を活性化する？！～」16名

12/2(土)「磁石にくっつかないモノを動かしてみよう」12名

12/24(日)「冬の特別展バックヤードツアー」17名

3/3(土)「さくら祭り～新聞紙ドームをつくろう！～」24名

シール取得者限定イベント

2/12(月・祝)、2/18(日)、3/11(日)ちよびっとサイエンス体験 7名

(b) 職場体験などの受入れ

児童・生徒の総合的な学習や学生の自主研修などへの支援として、実習生を受け入れ指導した。

【実績】13校47名（前年度 13校42名）

厚別北中学校、開成中等教育学校、札幌新陽高等学校 ほか

(c) 実験実習セット貸出及び制作

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸し出すとともに、観察資料用の微生物を提供した。

【実績】貸出22団体85セット（前年度 貸出18団体45セット）

(d) 教員研修

小学校新任教員が専門的な力量を高め、幅広い知見を得られるように科学への心構えから始め、物理・化学・生物・地学の基本的な実験実習を行った。

【実績】8回152名（前年度 6回145名）

6/15(木) 当別・新篠津教育研究協議会 4名

7/31(月)～8/2(水)、1/16(火)～1/18(木)

平成29年度札幌市初任段階における研修「1年次研修」135名

8/8(火) 小学校における「天文」に関する観察の指導と工夫

(会場：生涯学習センター) 13名

(e) 家庭教育学級への協力

市外の家庭教育学級からの相談はあったが、スケジュール等の問題から実施できなかった。

(f) 4次元デジタル宇宙シアター

国立天文台が開発したシミュレーションソフトを利用した映像を上映した。なお、上映にあたっては天文指導員が解説を行った。

【実績】2/24(土)～2/25(日)14回677名（前年度 28回1,277名）

(g) ちびっこワークショップ

主に未就学児の親子を対象に、遊びの要素を取り入れた科学工作ワークショップを行った。

【実績】5回837名（前年度 7回1,221名）

4/22(土)「つくってあそぼう！

コロコロぺんたくん」186名

5/27(土)「つくってあそぼう！ミニ凧」224名

6/24(土)「つくってあそぼう！声コプター」144名

11/11(土)「秋のしぜんとあそぼう」191名

2/17(土)「作って遊ぼう！ぽんぽんボール」92名



(h) 博物館実習の受入れ

大学からの依頼により、学芸員の資格取得のための博物館実習生を受け入れ、指導した。

【実績】3校4名（前年度 3校4名）

エ 共催事業・協力事業

(a) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」

（主催：（一財）日本宇宙フォーラム）

宇宙の日（9月12日）を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品を募集し、審査を行った。

【実績】応募件数161件

作文 小学校9名、中学校3名

絵画 小学校135名、中学校14名

(b) 札幌市創意くふう作品展（主催：札幌市創意工夫教育研究会他）

小中学生の自由研究などの審査及び作品展示の会場提供を行った。

【実績】9/23(土・祝)～9/24(日)展示数83点

(c) 北海道青少年科学技術振興作品展

道内の小中学生が自由研究などで制作した作品の展示（入選作品）とその表彰式の会場を提供した。

【実績】12/2(土)～12/3(日)展示数125点（前年度 展示数125点）

(d) 夏休み天体観望会（共催：（公財）さっぽろ青少年女性活動協会）

光害の少ない定山溪自然の村を会場に、星雲や流星など明度が低い天体を見る観望会を実施した。

【実績】8/12(土)75名（前年度 192名）

(e) さっぽろ星まつり（共催：さとみらいプロジェクトグループ）

サッポロさとらんどを会場に、天体観望会・太陽観望会・Mitaka（宇宙シアター）・星に関するゲーム・望遠鏡工作・望遠鏡相談・天体写真展を実施した。

【実績】9/30(土)～10/1(日)3,500名

（前年度 2日間4,100名）



(f) 他団体との連携による科学教室等

昨年度に比べて多くの企業や研究団体と連携し、通常では実施が困難な専門的な内容の科学教室や当館のPRなどを行うことができた。

【実績】35回35,401名（前年度 25回36,120名）

	日程	名称	形態・連携先	参加者数	備考
1	3/25(土)～4/9(日)	てくてく、ぺったん！かるちゃんスタンプラリー 春	主催：かるちゃん net	1,500	

2	6/17(土) 18(日)	ミュージアムキッズ！全国フェア	主催：こどもひかりプロジェクト	4,400	熊本開催
3	7/1(土)	メカトロ教室	共催：(一社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門	27	
4	7/9(日)	科学“大”実験	主催：北海道科学大学	820	
5	7/9(日)	図書館デビューの日	主催：えほん図書館	70	えほん図書館開催
6	7/15(土)	マーブリングアーティストになろう	主催：札幌市立大学	12	
7	7/15(土) ～8/20(日)	てくてく、ぺったん！かるちゃんスタンプラリー 夏	主催：かるちゃん net	6,426	
8	7/27(木)	教員のための博物館の日 in 札幌	主催：独立行政法人国立科学博物館など	15	開拓の村開催
9	7/31(月)	Kids Venture プログラミング教室	主催さくらインターネット(株)ほか	17	
10	8/9(水)	親子工場見学 ～セメント工場を見に行こう！～	共催：(一社)セメント協会	19組 38名	室蘭セメント工場
11	8/11 (金・祝)	発見・探検 文化の夏～遊ぼう！学ぼう！あつべつ・えべつ	主催：かるちゃん net	872	サンピアザ光の広場開催
12	8/12(土) ～13(日)	かるちゃん net パネル展	主催：かるちゃん net	—	サンピアザ水族館
13	8/22(火) ～26(土) 9/5(火) ～9(土)	札幌市職員・民間企業等体験研修	主催：札幌市	6	
14	9/7(木) ～8(金)	かるちゃん net パネル展	主催：かるちゃん net	—	札幌学院大学
15	9/10(日)	科学の祭典 in 石狩		1,900	石狩市民図書館
16	10/7(土)	ジオフェスティバル in Sapporo 2017	主催：同実行委員会	2,707	
17	10/8(日) ～9(月・祝)	サイエン ZOO	主催：円山動物園	12,307	円山動物園開催
18	10/9 (月・祝)	啓成 SSH in 光の広場	主催：北海道札幌啓成高校	1000	サンピアザ光の広場開催
19	10/15(日)	没入！バーチャル支笏湖ワールド	主催：北海道大学 CoSTEP	43	
20	11/3 (金・祝)	宇宙ふれあいデイ	主催：余市宇宙記念館	121	余市宇宙記念館開催
21	11/5(日)	環境省 Presents 気象キャスターと一緒に考えよう 親子で学ぶ地球温暖化	主催：環境省、日本キャスターネットワーク	242	
22	11/11(土)	スカベンジャーロボット教室	主催：北大ロボットアーキテクト	16	
23	11/18(土)	マイコンレーサー練習会	主催：北海道ロボット教育推進会	13	
24	11/19(日)	第3回マイコンレーサー北海道大会	主催：北海道ロボット教育推進会	18	
25	11/26(日)	サイエンス厚別	主催：札幌市厚別区 PTA 連合会	456	

26	12/9(日)	ヒグマの科学	CISE ネットワーク	7	
27	12/17(日)	かるちやるガーデン 2017	主催：かるちやる net	568	北海道教育大学サテライト・紀伊國屋札幌本店
28	12/23(土・祝)	宇宙博士と一緒にロケットの打ち上げを見る	協力：北海道情報大学	140	
29	1/6(土)～7(日)	かるちやる net パネル展	主催：かるちやる net	—	サンピアザ水族館
30	1/20(土)	自分が生まれた日の地球をつくろう	協力：北海道情報大学	54	
31	1/27(土)～28(日)	新さっぽろ冬まつり	主催：新さっぽろ冬まつり実行委員会	69	
32	2/3(土)	恐竜の科学	CISE ネットワーク	30	
33	2/11(日)	サイエンスリンク in 北海道	主催：対話の場の創造実行委員会	610	
34	2/17(土)	科学の祭典 in 北海道		559	札幌ドーム西棟開催
35	3/9(金)～3/10(土)	北海道国際サイエンスフェア	両主催：北海道札幌啓成高等学校	338	

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 天文指導ボランティア基礎講座

天文指導に興味・関心を持つ学生や一般市民を対象に、天体観望の初歩的な手法や星空案内方法などを取り上げ、身近な人への天文普及を行える程度の能力を身につける機会を提供した。

【実績】1回（全10日）24名

イ 天文指導員の養成

「天文指導ボランティア基礎講座」の修了者から希望者を募り、定期研修や天文事業への参加機会を提供して天文普及の一翼を担う人材を養成した。

【実績】登録者数36名（新規10名、継続27名）



(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(a) 科学技術に関する資料の収集

展示物の解説や更新・改良の基礎資料として、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。職員の参考資料にするとともに、科学系雑誌などは、学習コーナーにて閲覧できるようにした。

【実績】35冊（前年度 57冊）

(b) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、自ら撮影した、天体写真などの資料

を1階エントランスにて閲覧できるようにした。なお、撮影した天体写真はインターネットを通じて公開した。

- 【実績】4月 アルデバラン食、金星
5月 ジョンソン彗星
7月 水星食
8月 部分月食、米国での皆既日食
11月 金星と木星の接近
12月 国際宇宙ステーションの科学館上空通過
1月 皆既月食 など

イ 科学情報の提供・学習支援

(a) 「星空散歩」発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを発行し、市内公共施設などで配布した。

【実績】6回発行（4月、6月、8月、10月、12月、2月）計45,500部発行
（前年度 54,000部発行）

(b) 天文相談コーナーの運営

天体望遠鏡や参考図書などを備えた天文相談コーナーを設置し、初歩的な質問に答えるなど、来館者の天文学習を支援した。

(c) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスや学習支援のためのワークシートを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った。

【実績】ホームページアクセス数293,618件（前年度 337,667件）

5 青少年科学館等管理運営事業

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(a) 常設展示

見て、触れて、考えるをテーマに、天文・地球科学、北方圏、電気、力学などの各コーナーの展示物をより楽しく理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらった。

(b) 展示実演等

① サイエンスショー

来館者とのコミュニケーションを図りながら科学への興味・関心を深めてもらえるよう、不思議な現象の紹介や楽しい実験などの実演ショーを行った。



【実績】745回19,555名（前年度 767回19,299名）

4月「光よあれ もっと光を 」62回1,944名

5～8月 「ヒッ？灯っ！火っ！」290回8,293名

9～12月「キッチンで きっちんと？ サイエンス！」218回5,024名

1月「からだのセンサー 不思議で、へんさー！」175回4,294名

② ロボットショー

サッカーロボットやコミュニケーションロボットの実演を通して、最新のロボットの仕組みや技術についての紹介を行った。7月よりコミュニケーションロボット「PALRO」を導入し、平成28年3月で契約満了により実演終了となったコミュニケーションロボット「papero」の代わりとして、おしゃべりができるロボットの実演を再開した。

【実績】2回/日

③ テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果を紹介するとともに、実際に撮影体験してもらう参加型の実演を行った。

【実績】3回/日

④ 低温展示室公開

低温展示室の冷凍機が一部故障し、室内の温度が維持できなくなったことから、平成28年7月から公開を中止していた。代替の展示実演として「復氷実験」と「氷だらけの実験～氷はもうこりごり～」と題した氷に関するワークショップを実施した。なお、9月25日より、故障した冷凍機の撤去及び新しい冷凍機の導入を実施し、12月22日より公開を再開している。

【実績】3回/日 ※12/22(金)より低温展示室再開

ワークショップ 12/21(木)まで

⑤ 人工降雪装置

人工降雪装置の運用方法を変更することで、夏の降雪状況が若干改善した。しかし、装置の全体的な老朽化が著しく、未だに降雪が不安定な状況が続いている。

【実績】4回/日

⑥ ちょびっとサイエンス

展示室の入口で、簡単な科学体験や実演を行った。

【実績】34回3,883名（前年度 114回8,426名）

⑦ その他

来館者が多く訪れる時期に、常設の展示や実演以外にも、職員が企画した実演等を実施した。

【実績】8/5(土)「中学生によるスペシャルサイエンスショー」

(由利本荘市立大内中学校科学部) 2回70名

(c) 実験・実習への協力

市内の小学校を対象に、「サイエンスホール」で、4年生向けに「空気」に関する実験を、6年生向けに「水溶液」に関する実験を行った。

【実績】15校園15回995名

(前年度 21校1,662名)

イ 特別展等

(a) 特別展

夏休みや冬休みなどの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を開催した。

具体的には、夏はヒトの消化をテーマに、口から肛門まで、自分が食べ物になったつもりで消化・吸収される体験をしてもらった。例年に比べると来館者数は減ったが、1人当たりの滞在時間やリピーターは多かった。北海道大学遺伝子病制御研究所と連携し、同教授である高岡先生に監修・講演を依頼した。



冬は、迷宮の中での宝探しというコンセプトのもと、光によって引き起こされる多くの現象を楽しみながら体験してもらった。展示物を体験することでキーワードを得られるようにすることで、より多くの展示物を体験してもらえよう促した。

春は、身近な文具の中に隠された科学や科学技術について、体験しながら学んでもらった。昨年度の春の特別展に比べて大人の来館者の割合が多く、大人も楽しめる展示内容とすることができた。

【実績】7/22(土)～8/20(日)「たべものの冒険～消化！そういうことか！～」

30日間43,076名 (前年度 30日間54,257名)

1/5(金)～1/21(日)「光の迷宮～輝く宝を手に入れろ～」

17日間21,517名 (前年度 18日間14,608名)

3/24(土)～4/8(日)「文具×科学～文具の中のサイエンス～」

16日間21,801名 (前年度 16日間27,176名)

(b) 巡回展及び企画展

ゴールデンウィークなど期間限定で行うイベントを実施した。

① ゴールデンウィークイベント

「親子で楽しめる科学館」をテーマに、木のおもちゃや絵本を設置した。

【実績】5/3(水・祝)～5/7(日)「木と絵本のワンダーランド」

(共催：札幌芸術の森美術館) 5日間8,149名

② その他

札幌市スポーツ局と連携し、冬季オリンピック・パラリンピック札幌誘致に関連するイベントを実施した。

【実績】10/14(土)～10/29(日)、2/9(金)～3/18(日)

「冬季オリンピック・パラリンピック札幌誘致に関するパネル展」

(共催：札幌市スポーツ局) 46日間18,714名

10/14(土)～10/29(日)、2/9(金)～3/18(日)

「冬季オリンピック・パラリンピック札幌誘致に関する展示物ラリー」

(共催：札幌市スポーツ局) 46日間1,757名

(c) バックヤードツアー

特別展の設営の様子や、展示室の裏側など、普段見ることの出来ない部分を見学するツアーを実施した。

【実績】2回80名 (前年度 3回60名)

7/17(月・祝)「夏の特別展バックヤードツアー」1回50名

12/24(日)「冬の特別展バックヤードツアー」1回30名

(d) 環境科学展

市内等の企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて、体験等を交えながら子どもたちにも分かりやすく紹介するイベントを開催した。

【実績】10/21(土)～10/22(日)

出展11団体 2日間2,491名

(前年度 出展13団体 2日間2,771名)



(e) 中高生によるサイエンス広場

子どもたちが多様な科学実験を体験できるよう、中学校や高校の科学部を主体とした団体の科学体験ブースを多数展開したイベントを開催した。

【実績】12/10(日)7校89名

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(a) 一般投影

職員が、各回の観望者の年齢層に合わせた内容や話し方を工夫した生解説を行うなど、観望者に分かりやすく星座や天文知識を紹介した。

【実績】1,388回97,822名

(前年度 1,482回120,549名)

(b) 学習投影

小中学校を対象に、理科授業の一環として、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。来館が難しい遠方の学校には、移動プラネタリウムを活用することでプラネタリウムに触れる機会を設けた。

【実績】 271校143回19,394名

(前年度 269校132回19,126名)

(c) オート番組制作

一般投影時に用いる、小学生向けのプラネタリウムオート番組（ドーム全体に投影されるアニメーション動画）を制作・購入した。

【実績】「銀河鉄道の夜」（上映期間延長）

「Space Dreamers～宇宙兄弟 南波六太がやってきた～」（購入）

「科学戦隊サイエンジャーと火星旅行」（制作）

イ プラネタリウム特別投影

(a) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、旬の話題や現象について深く掘り下げ、天文に興味のある人にさらに深く、広く考えてもらえるような専門性の高い投影を行った。



【実績】 7回1,023名（前年度 9回1,423名）

6/24(土)「土星探査機『カッシーニ』が挑む最終ミッション！」 97名

9/9(土)「太陽系天体に命を求めて」 88名

10/14(土)「VRドームムービーセレクション&

木箱プラネタリウムライブ」 187名

12/22(金)～12/24(日)「中垣哲也 オーロラ投影&トークショー」 555名

3/10(土)「石っこ賢さんと星空散歩」 96名

(b) イブニングプラネタリウム

通常の開館時間中に来館できない人に観覧機会を提供するため、週末の夜間に一般投影を行った。

【実績】 7回475名（前年度 24回3,000名）

4/29(土・祝)「コズミックコリジョンズ」 84名

5/27(土)「GOODNIGHT GOLDILOCKS」 52名

7/22(土)「銀河鉄道の夜」 53名

8/19(土)「ワクドキ！探検★大宇宙

～ガリレオとめぐる太陽系の旅～」 118名

11/18(土)「銀河鉄道の夜」97名

1/20(土)「Space Dreamers 宇宙兄弟」45名

2/10(土)「ダークユニバース」26名

(c) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人のために、字幕付きの投影を行った。

【実績】4回242名（前年度 4回197名）

11/10(金)～11/11(土)「おかしなお菓子なあまのがわ」163名

3/16(金)～3/17(土)「僕らもみんな宇宙人!？」79名

(d) キッズプラネタリウム

未就学児と保護者を対象に、歌や動物探しを取り入れた特別なプラネタリウムを実施した。

【実績】3/1(木)～3/2(金)、3/8(木)～3/9(金) 4回440名（「一般投影」に含む）

ウ 天体観望事業

(a) 天体観望会

① 科学館観望会

主に夜間のプラネタリウム上映にあわせ、科学館正面玄関前において天体望遠鏡を使った観望会を行った。

【実績】8回575名 ※12回中4回中止

(前年度 8回348名 ※11回中3回中止)

(b) 札幌市天文台公開

天文に関する興味・関心を高めるため、中島公園内にある札幌市天文台を公開し、日中は太陽を中心に、夜は季節の星座を中心に観望会を実施した。

【実績】午前305回6,939名、午後259回7,155名

夜間61回3,620名

(前年度 午前304回8,867名、午後259回7,201名、夜間77回2,670名)



(c) 昼間の星を見よう！

科学館屋上天文台の60cm望遠鏡を用い、昼間の星を観望した。(曇天・雨天時は、望遠鏡操作体験)

【実績】50回727名（前年度 47回636名）

エ プラネタリウム祭り

プラネタリウム内で絵本の読み聞かせやコンサートなど幼児から大人まで楽しめる企画を実施した。

【実績】12/2(土)・12/3(日)・12/9(土)・12/10(日)4日間3,140名

(前年度 4日間3,109名)

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

イベント情報などを盛り込んだ「科学館ニュース」を毎月発行し、市内の幼稚園、小中学校に配布した。

また、地域への広報強化の一環として、区役所や区民センターなどのコミュニティ施設や、図書館などの社会教育施設にも配布した。

【実績】12回 総計36,000部 ※館内配布分は除く

イ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 利用者アンケートの実施

開館中に来館者に対して施設利用に関するアンケートを実施した。

【実績】8/11(金・祝)～8/16(水)200名

1/6(土)～1/20(土)182名

(b) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開催した。協議会では、特に事業の広報や地域連携について意見をいただいた。

【実績】8/10(木)、12/12(火)、3月13日(火)

(c) 学校連絡会の開催

学校に特化した事業の検証を行うことで学校連携事業の効果をより高めていくため、理科を中心とした各校種教員と科学館との意見・情報交換をそれぞれ行った。

【実績】1/23(火)小学校連絡会15名

1/30(火)中学校連絡会16名

(d) 子ども科学会議

科学館の事業や運営に子どもたちの意見を反映させるため、厚別区内の小学生(各校1名ずつ)に集まってもらい、春の特別展での体験プログラムをテーマに意見交換を行った。

【実績】1回16名(前年度 1回13名)

ウ 開館記念感謝デー

昭和56年10月の当館開館を記念して平成23年度より毎年10月の第1土曜日に実施しており、本年も展示室及びプラネタリウムを無料開放した。

【実績】10/7(土)4,107名(前年度 3,338名)



収 1 物品販売等事業

(定款第4条第1項第6号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者等への便益提供を目的とした売店事業を行った。

(2) 自動販売機の設置・販売

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

(3) 飲食店の運営

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、「Chie Terrace (ちえテラス)」における飲食店運営をタリーズコーヒージャパン(株)に委託し、来館者への飲食等提供事業を行った。

他 1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第4条第1項第5・6号に掲げる事業)

(1) 施設の貸与

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホールや各種研修室などを貸与した。

(2) 駐車場管理業務

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行った。

(3) 施設管理受託業務

札幌市生涯学習総合センター内の教育センター、若者活動センター、リサイクルプラザの警備、清掃業務を札幌市から受託し、実施した。

平成29年度 管理運営施設利用状況

● 札幌市青少年科学館観覧者数

		平成29年度			前年度 (平成28年度)
		個人	団体	合計(人)	
展示室	大人	82,010	14,794	96,804	109,261
	小人	97,642	40,279	137,921	146,443
小計		179,652	55,073	234,725	255,704
プラネタリウム	大人	47,333	5,347	52,680	69,365
	小人	40,211	24,809	65,020	73,310
小計		87,544	30,156	117,700	142,675
合計		267,196	85,229	352,425	398,379
1日あたりの観覧者数 (人)		1,254			1,418

● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

項目		平成29年度	前年度対比	平成28年度
貸室(25室)	利用率 (%)	82.4%	99.4%	82.9%
	利用人数 (人)	425,317	104.5%	407,158
1日あたりの利用者数 (人)		1,226	104.5%	1,173

● メディアプラザ利用状況

項目	平成29年度	前年度対比	平成28年度
メディアプラザ利用人数 (人)	224,371	107.4%	208,855
一日あたりの利用者数 (人)	647	107.5%	602

● 視聴覚センター教材貸し出し状況(16ミリ・ビデオ教材・機材)

項目	平成29年度	前年度対比	平成28年度
貸出本数	1,882	85.1%	2,212
デジタルアーカイブス アクセス数	111,448	66.7%	167,102

● 平成29年度 管理運営施設利用状況

項目		平成29年度	前年度対比	前年度 (平成28年度)
ホール	利用率	75.8%	103.4%	73.3%
	利用人数	126,913	103.1%	123,153
講堂	利用率	68.3%	92.9%	73.5%
	利用人数	55,572	95.7%	58,045
大研修室	利用率	74.9%	100.0%	74.9%
	利用人数	33,426	112.3%	29,761
中研修室 1	利用率	77.8%	98.5%	79.0%
	利用人数	19,679	111.8%	17,599
中研修室 2	利用率	89.0%	103.6%	85.9%
	利用人数	21,077	127.6%	16,517
演劇スタジオ 1	利用率	97.4%	99.1%	98.3%
	利用人数	19,945	117.0%	17,052
演劇スタジオ 2	利用率	98.8%	100.8%	98.0%
	利用人数	8,480	94.2%	9,001
音楽スタジオ 1	利用率	94.5%	99.4%	95.1%
	利用人数	7,027	91.2%	7,709
音楽スタジオ 2	利用率	97.1%	99.4%	97.7%
	利用人数	8,273	96.0%	8,614
映像スタジオ	利用率	81.0%	93.4%	86.7%
	利用人数	10,606	93.3%	11,365

● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

	CD	LP	SP	LD	VHS	DVD	合計
保有数	12,481	8,762	1,946	1,884	192	1,215	26,480
うち新着数	38	0	0	0	0	15	53

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 6 月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団